



北条地区  
コミュニティ  
振興協議会  
TEL25-3355

北条ネット  
kitajo.net



# 震災がれき受け入れ地元説明会

北条地区総代連絡協議会

東日本大震災の発生から一年以上が経過した現在も、被災地では大量のがれきが山になった状態で、復興の妨げとなっており、その処理について柏崎市（ほか県内四市）が受け入れを表明しました。

五月に行われた、北条地区総代連絡協議会の定例会にて、市のクリーン推進課より、岩手県大槌町のがれきの受け入れと、焼却後の灰を埋める処分場として、「夏渡」を候補地にと考えている旨の説明がされました。

そして基本指針として、市民の安全・安心を確保した中で、被災地の復旧・復興へ協力し、  
① 受け入れる災害廃棄物の基準は、一キログラムあたりに含まれる放射性セシウムを一〇〇ベクレル以下とする。

【基準設定の判断材料】  
・放射性セシウム濃度一〇〇ベ

クレル/kgは、国際基準や日本においても、震災以前からクリアランスレベル（放射性物質として扱う必要のないもの）として扱われている。

・クリアランスレベルを算出するための線量の目安値は、自然界の放射線レベルに比較して十分小さく、また、人の健康に対するリスクが無視できない線量とされている。

② 受け入れ対象廃棄物は、当面柱・角材・倒木などの木質系チップとする。

市は、六月中に地域住民を対象とした説明会を開催し、十分に住民の理解を得て、各市の受け入れ体制が整った段階で実施することです。

また、地元住民説明会の日程等につきましても、決まり次第皆さまにお知らせいたします。

田舎料理の達人めざして

## 「旬香塾」盛況！

「こんな田舎に住みたくない！雪は一杯降るし、買い物する店も無い」と口説いてみてもどうしようもありません。だったら、都会にはない宝物を探し、それらを活かす術と技を習得して、田舎に暮らすことの喜びを実感しませんか。先ずは春の山菜料理からこの呼びかえが始まった「旬香塾」。

案内チラシを見て、自分で学びたいという強い意思を持って集まった塾生（女性二十四名）です。から、とても熱心で、知らなかったことを知る喜び、学ぶことが楽しくてしょうがないという気持ちも伝わってきます。

「旬香塾」に申し込みそこねたという声をあちこちから聞こえてきます。残された講習会はあと二回。笹寿司と笹団子です。日程は決まっておりますが、参加したいと思われる方はコミュニティにお問い合わせください。日程が決まりましたら連絡を差し上げます。また、これまでの講習会に使った資料を希望される方も連絡いただければお分けします。みんなで田舎料理の達人を目指しましょう。

(コミュニティ事務局)

旬香塾に参加して

塾生 佐藤 尚子

八石山の麓に越してきて二十一年になります。

毎年、雪融けを待ちきれずに、ふきのとうから始まる山菜採りを楽しんでいますが、処理の仕方など自己流で、全く自信がありませんでした。そんな心中を察してかのように「旬香塾」の案内が配布され、即、参加をお願いしました。

ぜんまい、たけのこは地区外のベテラン講師から処理の仕方から保存、調理まで丁寧にご指導いただきました。よもぎは、山瀬の荒川信子さんから大福を作りながらの実習で、おいしい楽しい会でした。

残されているテーマは「笹」、笹の保存法を学びながら、応用料理は笹寿司と笹団子です。今からとても楽しみです。

また、課外授業では湯沢に行き、魚沼の食材を使った料理をいただきますながら楽しい一日を過ごすことができました。これからも、今以上に北条の自然の恵みを楽しもうと思います。



### 交通事故防止講習会のご案内

- ◆ と き 7月1日(日) 午後1:30
- ◆ ところ コミュニティ体育館
- ◆ 内 容 ① マーチングバンド演奏  
② 優秀ドライバー表彰  
③ チャレンジ61達成表彰  
④ 柏崎警察署交通課長 講話  
⑤ 交通安全宣言



※ 地域の皆さまには、交通安全協会の事業に対しご支援とご協力をいただきまして、大変ありがとうございます。

柏崎警察署管内の交通事故は、昨年に比べて事故件数・負傷者数ともに多くなっております。そこで本年も上記により事故防止講習会を開催いたします。大勢の方の参加をお待ちしております。今年のアトラクションは、北条小学校マーチングバンドの皆さまの演奏です。

(北条地区交通安全協会)



品質の良い「つららなす」を

5月21日、小島の共同ほ場に「つららなす」の苗350本を植栽しました。今年度は、栽培者より100本の苗を植えていただき、全体の本数は昨年度に比べて少ないですが、より品質の高いナスの生産に努めてまいります。(つららなすの会)

### 米山検校の書籍「評伝 銀のつえ」

著者 徳間佳信さん 文化講演会開催

と き 6月24日(日) 10:00~  
と ころ 北条中学校 体育館

※詳しくは、別紙チラシをご覧ください

### — 6月の行事予定 —



地区民親睦体育祭	10日(日)	9:00
総代会	4日(月)	13:30
生花教室	21日(木)	14:00~16:00
かすりの会	19日(木)	9:00~15:30
社交ダンス	11・25日(月)	20:00~21:00
茶道教室	14・28日(木)	13:00~16:30
北条お達者クラブ	12・26日(火)	10:30~11:30
旧広田ソフトバレー	毎週火曜日	19:30~21:30
習字教室	毎週水曜日	16:00~21:00
卓球クラブ	毎週水曜日	19:30~21:30
三味線教室	毎週木曜日	9:30~11:30
越後よさこい凧北条	毎週木曜日	19:30~21:00
カサブランカ合唱団	毎週金曜日	19:30~21:30
北条小学校学童野球チーム「北条JBC」試合		
23日(土)	第57回春季鯖石郷大会	会場:北条中
24日(日)	読売学童野球柏崎地区大会	会場:佐藤池第2・荒浜

### ふるさと再発見 ~米山検校 編~

米山検校は、宝永元年(1704)長島平沢(現・東長島杉平)の地で生まれ、明和8年(1771)に67歳の生涯を終えた。

幼少時にして失明、そして母と死別し、小千谷市片貝にて灸とあんまを習う。盲目のため大変苦労したが、ある年に一念発起して江戸へ。そこで幕府お抱えの医師と出会い鍼灸を学ぶ。その後独立し、鍼灸と金貸し業を営み、巨万の富を得る。そして盲人官位最高の『検校』の位につき、名を米山検校と称した。

米山検校は相当の富を得たが、普段の生活は常に質素で、木綿を着用し、盲目のハンデを抱えながら多くの困窮者の救済に努めた。

そんな中でも、検校の故郷長島への思いは強く、宝暦5年からの大凶作で、住民の困窮を知り、私財を惜しみなく使い、3年間にわたり故郷の人々の救済に努めた。今も、岩之入集落と大角間集落に『御礼塔』、杉平に『米山検校之塔』が残されている。これらは、餓死から救われた長島郷の人々が感謝を込め、この厚恩を子々孫々に伝えるために石碑を建立したものだ。そして、米山検校の人間愛、ふるさと愛を今に伝えている。

### 診療日からのお知らせ

【診察日】 月・火・水・金曜日(ただし、祝日は除く)  
【診療時間・体制】  
月・火曜日 9:00~12:00 中野 研一医師  
水・金曜日 9:30~12:00 樋口 真也医師  
【ご注意】 往診は、月・火曜日のみです。

診療所 ☎25-3215

長原	藤田	長原	邊見	五十嵐	田中	桑原	相村
守子	和子	禮子	ヒサ	夫	夕	千	心
(59歳)	(84歳)	(81歳)	(98歳)	(78歳)	(87歳)	(67歳)	(80歳)
西長鳥	東長鳥	西北鳥	北山	山本	西本	南	鳥

ご冥福をお祈り申し上げます  
四月二十五日(土)五月二十四日

明暗帳